

愛知県廃棄物処理施設審査会議 会議録

1 日時

平成28年1月28日（木）午前10時から午前10時50分まで

2 場所

愛知県自治センター4階 大会議室

3 出席者

(1) 構成員及び専門委員

加藤座長、岡田委員、大東委員、成瀬委員、松尾委員、山澤委員、水野専門委員

(2) 事務局

環境部：大林資源循環推進課長、佐藤主幹、永井課長補佐、高橋主査、国立主査、加納技師、高崎技師

尾張県民事務所知多県民センター環境保全課：中村技師、加島技師

(3) 申請者

オオブユニティ株式会社 瀨瀬氏他

2 傍聴者

なし

3 議事録

別添のとおり

愛知県廃棄物処理施設審査会議 議事録

【議事 1】

オオブユニティ株式会社の一般廃棄物処理施設及び産業廃棄物処理施設変更許可申請について

○ 申請の内容説明

事務局が、資料 1 から資料 5 に基づき説明を行った。また、縦覧した申請書及び生活環境影響調査に対し、利害関係者による生活環境の保全上の見地からの意見書の提出はなかった旨の説明を行った。

○ 質疑応答

(委員)

資料 3 の 2 番で、安定計算に用いた廃棄物の粘着力に誤りがあったため、再度計算を行ったとのことである。資料 3 の別添の 4 1 ページに、廃棄物の土質定数の資料があり、燃え殻については粘着力が $0.56\text{kg}/\text{cm}^2$ 、換算すると $56\text{kN}/\text{m}^2$ である。一方、同ページの欄外に、加重平均により用いた廃棄物の土質定数が示されており、粘着力については $0.49\text{kg}/\text{cm}^2$ 、換算すると $49\text{kN}/\text{m}^2$ である。最終的に、えん堤の安定計算に用いた廃棄物の土質定数は、加重平均で求めた値であるということ間違いか。

(事務局)

御指摘のように、廃棄物の土質定数は加重平均で算出した値、粘着力については $49\text{kN}/\text{m}^2$ を用いて計算を行っている。具体的には、埋立廃棄物中の燃え殻と不燃物の将来の割合推計（燃え殻 25.1%、不燃物 72%）により、燃え殻と不燃物の土質定数を加重平均することで算出している。この際、燃え殻については三軸圧縮試験の結果に基づく土質定数があるためその値を用いており、不燃物については三軸圧縮試験の結果がないため一面せん断試験の結果を用いている。

(委員)

元々、申請書に添付されていた安定計算書では、廃棄物の土質定数については、燃え殻に係る土質定数を用いていたということ間違いなかったか。

(事務局)

そのとおりである。前回会議の御指摘を反映した。

(委員)

資料 3 の 9 番及び 10 番に関して、粉じんの飛散防止対策として散水を主に考えているとのことである。別添の 117 ページに、散水設備の位置が示されており、散水設備は事業場の南端に設置されている。埋め立てが進行し嵩上げがされると、低い位置に設置された散水設備から散水を行うこととなり、高い位置まで散水が問題なく行うことが出来るのか不明なので説明されたい。

(事務局)

別添の 115 ページの「3 粉じんの飛散防止対策」の④に、「今後南側から、北

側に埋立箇所が順に移動するので、水道管を北方向に延長し、埋立作業場所で速やかに散水ができるようにする。」とされている。

(委員)

了解した。

(委員)

保有水の管理について、基本的には最終処分場内の保有水を一番下まで下げるといって良かったか。保有水位を下げるための揚水ポンプは常時稼働させるわけではないとのことなので、タイマーにより定期的に揚水ポンプを稼働させて、保有水が溜まったらポンプを稼働させて保有水を汲み出していくということ良かったか。

(事務局)

現状は保有水位が底面まで下がっていないが、変更許可後は底面まで保有水位を下げるように管理をすることである。揚水ポンプは常時稼働ではなく、毎日作業員が手動で揚水ポンプのスイッチを入れて保有水を汲み出すとのことである。今後、一定の期間をかけて、保有水位を底面まで下げ、その後は保有水位を底面で保つように管理することである。

(委員)

おそらく、揚水ポンプを稼働させると保有水孔内部の水はすぐになくなるが、廃棄物層に溜まった水は保有水孔に浸み出してくるのに時間がかかるので、保有水孔内が空になっても、翌日にはまた保有水孔に水が溜まっているということが続くと考えられる。ついては、管理計画をしっかりと作っていただきたい。

(座長)

前回及び今回の審議で概ね今回の案件についての議論は尽くされたと考える。

ついては、事務局において、技術上の基準に対する今回の審査案件の適合状況を整理するとともに、審査会議報告の案を作成し、次回の会議で説明できるようにされたい。

【議事2】

その他

- 事務局から追加の議事はない旨の説明があった。